

公共交通を守り充実を求める請願

紹介議員 堤 幸子

紹介議員 広瀬 ひとし



公共交通を守り充実を求める請願

1. 請願の趣旨

枚方市においても京阪バス路線廃止（2027.3月末）が提起されました。交通不便地域が拡大されようとしています。

高齢化が進む中で市民の足を確保することは、暮らしを支え、豊かな地域社会をつくる上で大事な課題になっています。誰もが金銭の心配なく、行きたいところへ行けることは、交通権の実現そのものです。このことは、近隣都市の交野市、寝屋川市では、公共サービスとしてすでに外出支援が実現されています。

今こそ福祉のまち枚方において、高齢者、障害者、妊婦に対する福祉施策として交通運賃助成が必要です。あわせて誰もが移動しやすい枚方市にするため、早期に施策の実現をしてください。以下について求めます。

1. 高齢者等の交通運賃を交野市、寝屋川市並みに助成を早期に行うこと。
2. 交通不便地域の移動手段の整備を市が主体的に行うこと。
3. 市民の足をまもるため、減便対策、路線廃止対策を具体的に行うこと。

2. 請願の理由

2年前に私たちは住民の皆さんから運賃助成や移動する事に関して、沢山の悲痛な声を聞かせて頂きました。その声を市議会に届け、市会議員の皆さんからの賛同を頂き、是非とも施策の実現を願って請願を提出しましたが、残念ながら不採択になりました。

しかし、その後も市内のあちこちから住民の高齢化の影響と京阪バスの減便で通院や買い物など日常の生活が非常に困難になったという状況が生まれています。

私たち住民は、特に高齢者に関する施策は5年、10年先では全く役にたちません。今、生活している方々が十分な施策の実現によって、心から枚方市に住んでいて良かったと思える状況を作って頂く事を願って請願します。

地方自治法第124条及び枚方市議会会議規則第132条の規定により、上記のとおり請願します。

令和8年8月31日

請願者の住所 枚方市宮之下町3番8号
氏名 伊藤和嘉子
他 9317人

枚方市議会議長 大地正広 様